

「使用上の注意」改訂のお知らせ

平成23年8月



製造販売元

日本薬品工業株式会社

東京都千代田区岩本町2丁目2-3

非ステロイド性消炎・鎮痛剤

メロキシカム錠5mg「NPI」
メロキシカム錠10mg「NPI」

Meloxicam

メロキシカム製剤

拝啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

平素は弊社製品につきまして格別のお引き立てを賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、このたび、標記製品の「使用上の注意」の記載内容を下記のとおり改訂致しましたので、ご案内申し上げます。

つきましては、ここにあります内容に充分ご留意頂きますよう、宜しくお願い申し上げます。

敬具

記

＜改訂内容（2011年8月改訂）＞

1. 「相互作用」の項の記載を改訂致しました。（5・10mg共通）

改訂後		
3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
現行通り		
抗凝固剤 トロンビン 阻害剤 （ダビガト ランエテキ シラート等） クマリン系 抗凝血剤 （ワルファ リン等） ヘパリン	出血傾向が増強するおそれがあるので、併用が避けられない場合は、血液凝固に関する検査を行うなど、これら薬剤の効果を十分観察すること。	これら薬剤は抗凝固作用を有するためと考えられる。また、CYP2C9による代謝において、本剤とワルファリンとの薬物相互作用が起こるおそれがある。
現行通り		

改訂前		
3. 相互作用 併用注意（併用に注意すること）		
薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
省略		
クマリン系抗凝血剤 （ワルファリン等）	出血傾向が増強するおそれがあるので、併用が避けられない場合は、血液凝固に関する検査を行うなど、これら薬剤の効果を十分観察すること。	これら薬剤は抗凝固作用を有するためと考えられる。また、CYP2C9による代謝において、本剤とワルファリンとの薬物相互作用が起こるおそれがある。
ヘパリン		
省略		

※_____：改訂箇所

※DSU No. 202（2011年8月）に掲載予定

＜改訂理由＞

メロキシカム製剤はプロスタグランジン合成阻害作用を有するため、ダビガトランエテキシラート製剤（プラザキサカプセル®）の抗凝固作用を増強する可能性があることから、「併用注意」の項目を改訂し、注意喚起することとしました。

以上